

1/12

株赤水様と災害時の協定を締結

市と株赤水様の間で、「災害時における物資の供給に関する協定書」の締結式が行われました。

この協定は、万一大規模災害が発生したとき、赤水様から市へ病者用の治療食をはじめとした救援物資の供給を優先的に受けるため、事前の取り決めを定めたものです。通常の救援物資の「備蓄」は行わず、物資の保管スペースや賞味期限切れなどによる買い替えコストがかからない「流通備蓄」の方法が取られます。この締結により本市では、昨年10月のイオン九州様に続き2事業所との協定となります。



1/25

防衛行政に対して要望書を提出

松本市長は防衛省を訪問し、防衛副大臣および同省政務官に対して、防衛行政に対する市内の課題などを取りまとめた要望書を手渡し、早急な対応を求めました。

この日は、航空機騒音に対する実効性のある対策の速やかな実施をはじめ、昨年12月、長崎市沖で発生した大村航空基地所属のヘリコプター事故の原因究明および再発防止、安全な訓練の実施などについて強く要望しました。



しんぼ 榛葉防衛副大臣に要望する松本市長

2/4

LED道路灯 社会実験を実施

地球温暖化防止対策の一環として、LED（発光ダイオード）型の道路照明を使用する社会実験を実施するため、大村駅前道路路4基を設置し点灯式が行われました。

九州初の今回の実験は、従来の水銀灯200ワットに対し、100ワットを切るLED型照明で、特徴は長寿命で維持管理が容易で、電気使用量の軽減やCO₂削減などさまざまな環境貢献効果が期待されます。4基のうち2基は市が、もう2基は寄贈により実施されます。



2/6

竹松駅北側に駐輪場を新設

竹松駅舎北側に新しく駐輪場が整備され、開所式が行われました。

竹松駅の利用者は年々増加し、年間の利用者は約88万人に達しています。利用者の増加により手狭となったため、従来の駅舎南側の駐輪場に加え緊急経済対策として整備され、103台が駐輪可能となり、歩行者用通路もスムーズに通行できるようになります。利用される皆さんは、マナーを守った駐輪にご協力ください。



2/10

次世代政策研究 グループ報告会

市の将来を見据えた地域活性化策について、市の若手職員が自ら調査・研究する「次世代政策研究事業」の研究成果報告会を市コミセンで行いました。

今年度の研究課題は、「花のまちおおむらづくり」と「遊休地の利活用」で、これまで約6カ月に渡って調査・研究をすすめてきた2グループは、実現の可能性の検討も含めて、その成果を市長をはじめ専門委員やまちづくりアドバイザーに報告しました。

